

blog に関する調査研究

99H035 荻原 進

目次

1	はじめに	2
2	blog について	3
2.1	blog とは	3
2.2	blog の歴史	5
2.3	blog の現在の利用のされ方	7
2.4	日本での blog について	8
2.5	日本での blog 論争について	10
3	blog に関する技術	11
3.1	blog 作成支援ツールについて	11
3.2	RSS について	12
4	blog の利用・応用について	13
4.1	blog を利用するメリット・デメリット	13
4.2	blog の教育・コミュニケーションへの利用	14
4.3	blog の今後の展開と応用についての考察	15
5	まとめ	16
6	謝辞	16

1 はじめに

Web が世の中に浸透し、現在世界には無数の Web サイトがある。膨大に情報量が増え、閲覧者にとって有意義な情報が散乱している。しかし、閲覧者に必要な情報に関するサイトを一つ一つ調べるのは、とても手間のかかる作業である。

有意義な情報を素早く知るためにはどうすればよいのか。一つの方法として、blog サイトを利用することが挙げられる。blog とはアメリカの Web 上で話題になっている Web サイトの形式である。Web 草創期における、NCSA の「What's New Page」[1] の流れを組むサイト形式で、日本で言う日記サイト・テキストサイト¹・個人ニュースサイトに良く似ている。そして、アメリカの Newsweek 誌に「blog はオールドメディアを殺すか？」という記事がのるほどに blog の注目度は高い。

本研究では、その blog サイトについて調査する。blog とは一体どんなものか・blog の始まりから今までどのようなことがあったのか・さらに blog の実態について調べ、日本の blog と類似する日記・テキスト・個人ニュースサイトとどう違うのか比較した。その上で blog を利用するメリット・デメリット・blog の教育への利用・blog の今後・応用について考察した。

新しい分野なので参考にする書籍はほとんどなく、全て Web ページで調べた。

¹エッセイやコラムを掲載するサイト

2 blog について

2.1 blog とは

blog とは Weblog の略で、Weblog とは Web サイトの管理者が気になった Web ページのニュースや記事などに、注釈とともにリンクを貼る形式の web サイトを指す。しかし、現在 blog の解釈は様々で、リンクの多く含まれる日記なども blog の範疇に入る。

つまり blog とは blog サイトの管理者の気に入った Web ページをその管理者の言葉で解説しているサイトである。Weblog という言葉の名付け親の Jorn Barger によると、blog とは “リンクと共に注釈を添える形式の更新頻度の高い個人のサイト” である。日本では Web 上で公表する日記と解釈されている場合があるが、日記の内容に関係するリンクがない、つまりただ書きつらねた日記の場合 blog とは言いがたい。日本に多数ある 2ちゃんねる²のスレッド紹介サイトは blog の 1 つといえる。

現在 blog という言葉は、blog という言葉が生み出された頃とは定義が変わってきている。

- 狭義の blog

blog 本来の定義である、リンクと共に注釈を添える形式の更新頻度の高い個人のサイト。コンセプトは 3 つ、頻繁な更新・簡潔であること・個性的であること。

- 広義の blog

blog のもう一つ定義である。リンクを多く含む日記サイト・テキストサイト・個人ニュースサイト。

blog の起源は NCSA の「What's New Page」である。それから各地に派生した個人の「What's New Page」が Web の情報量が膨大に増えるにつれて、それぞれのサイトの管理人が興味のあるページのみを掲載することによって、blog サイトになったのである。

Weblog という言葉は 1997 年 12 月 Jorn Barger によって始めて使用された。その後、Peter Merholz によって blog と短縮された。Weblog を We blog と分けて「私達は blog する」という意味で略された。現在では blog と呼ばれるほうが一般的である。派生語として blog することを blogging、blog をする人達のことを blogger と言う。現在世界中で blog サイトが 100 万以上もあり社会現象となっていて注目度が高い [2]。

²日本最大級の掲示板サイト、様々なジャンルの話題を扱っている。http://www.2ch.net/

Scripting News Archive

News from April 1997 through December 1999.

Monday, March 30, 1998



[Thea's Galleria goes to Albania](#), a repressive country where the Internet (and Macs and Frontier) make a real difference in getting news to people whose lives depend on it.

PC WEEK: [Novell to develop cross-operating system API](#)

Lisa Rein wrote me a [beautiful geeky song](#) this morning!

[Chris Nolan](#) in the SJ Merc considers the acquisition of Netscape by IBM and/or AOL.

[ComputerShopper](#) contrasts DRP and WEBDAV. Microsoft is pushing DAV, Marimba says DRP is different (it's for code, not web content). [Pointers](#).

Wes has [comments](#) on the Computer Shopper piece.

According to Wired, [Netscape 5.0](#) will have extensive XML capabilities.

Written in 1991: [Demoing Software for Fun and Profit](#).

March 1998

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
				Feb	Apr	

Last update: Monday, March 30, 1998 at 12:00:00 AM.

図 1: 代表的な blog サイト「Scripting News」 [3]

図 1 はアメリカの代表的な blog サイトである「Scripting News」の TOP ページである。サイト管理者の注釈とともにリンクが貼られている。

2.2 blogの歴史

Web 草創期の NCSA による「What's New Page」から始まり、Web の情報量が膨大に膨れ上がるにつれて多極分散化が進み、現在のように多種多様な blog サイトが存在する。blog の始まりから現在までの歴史をまとめた [4][5]。

1993 年 6 月

NCSA による世界で最初の blog と言える「What's New Page」が公表される 1996 年 6 月まで続いた。現在もアーカイブ化されたものが残っている。内容は主に大学や軍の研究所などにおける Web サーバーの運用開始情報等。

1994 年

Justin Hall により「Links from the Underground」が開設。現在は Justin's Links というサイトに変わっている。

1996 年

マイケルシッピーが「The Filter」を開設。現在は閉鎖。

1997 年 4 月 1 日

Dave Winer が「Scriping News」の公表を始めた。現在まで続いている中では一番古い blog のサイトである。Winer 氏は blog 作成ツールを提供している UserlandSoftware 社の CEO である

1997 年 6 月

Cameron Barrett が「CamWorld」を公表。技術系の blog では代表的なサイトである。

1997 年 12 月

Jorn Barger が始めて Weblog という言葉を使用。

1998 年 5 月 7 日

Peter Merholz が「peterme.com」を公表した。

1998 年 9 月 15 日

「Memepool」が公表された。最初のリンクは Alex Chiu の永遠の生命装置に対するもの。

1999 年

Matt Haughe によって「Metafilter」というコミュニティー blog が開設。扱う分野が幅広く、登録ユーザーの自由投稿という形式で活発な議論が行なわれている。

1999 年 12 月

アメリカで Evan Williams が設立した pyra 社が blog 作成ツールである「Blogger」を発表。ブラウザ上で記事を書くだけで自動的にその記事をプットしてくれる。簡単で素早い blog の更新を可能にした。それによって blog が爆発的に増加する。同時期に Userland 社の blog 作成ツール「Manila」も発表された。

2001 年 9 月 11 日

同時多発テロ以降「War blog」という戦争に関する blog が増加する。

2001年10月

Benjamin Trott と Mena G Trott が blog 作成ツール「Movable Type」を発表した。

2001年12月

Userland 社が blog 作成ツール「Radio Userland」を発表した。

現在アメリカでは、blog は Yahoo.com にもカテゴリがあり、645 件のサイトが登録されている。

2.3 blogの現在の利用のされ方

世界には現在 100 万以上の blog サイトがある。そのジャンルは様々であるが、主に 3 つに分類される。

- Techblog 「技術系 blog」
- War blog 「テロ・戦争に関する blog」
- diary 「日記系 blog」である。

Techblog は blog 草創期は、まだ Web が一般的に認知されておらず、blog の作者も技術的に詳しい人やインターネット業界に関わっている人がほとんどだった。そのような人達が興味のあることについて書いたのである。よって Web・PC・テクノロジーに関する blog が増加し、今に至るのである。次に「War blog」は 2001 年 9 月 11 日の同時多発テロの影響からテロや戦争に対する注目度が高まり、テロや戦争に関するニュースを扱う blog が増加した。最後に diary は日記タイプの blog で日々起こったことを書き連ねた blog である。現在このジャンルが一番多い。他にも聖書的话题を取り扱う blog など専門的な話題を取り扱う blog もある。

そして広義の blog サイトの形式は大まかに 3 つの形式に分類される。

- filter
- (狭義の)blog
- notebook である。

まず「filter」これは Web 上の興味をもったページへのリンクをサイトの題名と共に日々書き込むサイトである。次に「blog」これは「filter」の形式でリンクに気の効いたコメントを沿える形式のもの、つまり狭義の blog である。主にニュース系の blog サイトによく使われる形式である。最後に「notebook」これは日記やコラム、エッセー、ジャーナルの様に文を書き連ね、その文中からリンクを貼る blog サイトの事である。

企業も blog に対する注目度が高い。例えば Microsoft[6] のサイトには、blog[7] のページがある。さらにアメリカの Macromedia[8] は、5 人のデザイナー達が blog[9] を運営している。それはただの広報戦略としてではなく、「会社の中の生の声を聞いて頂くことでお客様に会社のことをより知って頂く機会にしたい」ということである [10]。

アメリカのマサチューセッツ工科大学 (MIT) のメディアラボは、膨大な数の blog を調べて最も人気の高いハイパーテキスト・リンクのインデックスを作成する “blogdex” という ツールを実験中である。“blogdex” は、ハイパーテキスト・リンクを探して 1 日に 13000 件の blog を訪問する。Web 中を動き回ってすべてのコンテンツを中央サーバー上に保存するコンピューター・プログラムである。“blogdex” はリンクを抽出し、人気順にランク付けする。人気が高いトップ 10 のリンクは、毎日の “blogdex” のサイトに掲載される。これによって、blog の世界で今何が一番話題になっているか知ることが出来る。

2.4 日本での blog について

アメリカでは社会現象となるくらい注目度の高い blog。日本の blog の実態についても調べた。

日本では 95 年頃から Web で日記を文化が広まっていった。日記を公開するサイトを日記系サイトと言い、そこから派生したのがテキストサイトと言うサイトである。さらに 98 年頃には個人ニュースサイトというサイトが広まっていった。つまり日本人は独自に blog と良く似た文化を作り上げて来たのである。1999 年 1 月 11 日開設の「ムーノーローカル」、1999 年 5 月開設の「裏ニュース」、1999 年 1 月 13 日開設の「J-o の日記」等が源流である。日記系サイトとは文字通り Web 上で日記を公開するサイトで、個人サイトで 1 億 PageView を記録した「侍魂」[11] が代表的である。次にテキストサイトとは個人の思想や気になったことについてコラムを書き連ねる形式のサイトである。「斬鉄剣」[12] 等が代表的である。テキストサイトと日記サイトのサイトの特徴を持っているものを「日記系テキストサイト」と言う。次に個人ニュースサイトであるがこの形式のサイトはまさに blog そのものである。サイト管理者が気になったニュースにリンクを貼りその記事に対するコメントをつける。「俺ニュース」[13]「連邦」[14] といったサイトが代表的である。

そしてアメリカの “blogdex” と同じことを日本でも行なっている。「ばらばらアンテナ³」というサイトは “blogdex” の模倣をしている」と明記してあり “blogdex” と同じように個人ニュースサイトを巡回し、どこのニュースサイトが一番リンクされているか調べている。

このように blog と似た形式を持ったサイトが日本には数多くあり、突然入って来た blog という概念に戸惑いをもつひとが多い。そして「blog は既存のサイトとどう違うのか」と言う議論を巻き起こした。

その blog 論争以後、日本でも爆発的に blog サイトが増加している。静岡大学情報学部の赤尾晃一教授が呼びかけて設立された「日本ウェブログ学会」[15] や日本 infoseek 社長の伊藤譲一氏の参加する「Japan Blogging Association」[16] が設立されるなど日本でも blog に関する注目度は高くなっている。

³現在は休止中、ばらばらアンテナを元にして作られたはてなアンテナというサイトが同じことを行なっている。

EPS File ore.eps.epsf not found

図 2: 個人ニュースサイト“俺ニュース”

2.5 日本での blog 論争について

日本で少し前に起きた blog 論争について示す。blog 論争とは、東京大学大学院新領域創成科学研究科メディア環境学研究室 (通称 mesh)[17] で行なわれている blog の研究で院生が「『mesh 抜きでは日本における blog 草創期を語れない』と言われるようなサイトにしていきたいですね。(言いすぎ?)」という発言に対して、日記サイト・テキストサイトの管理者が「blog は以前から日本にもあったものだ」と反発し、論争を巻き起こした。ここで問題になっているのは blog の定義と既存の日記サイト・テキストサイト・個人ニュースサイトとどう違うのか、である。

blog の定義についてだが、広義の blog は“リンクを多く含む、日記サイト・テキストサイト・個人ニュースサイト”であるので、今までである日本の日記サイト・テキストサイト・個人ニュースサイトと境界線がはっきりしないのである。サイトが blog であるかどうかは、サイトの記事の文中からリンクが貼ってあることが重要である。例えば「俺ニュース」では、記事のほとんどが管理人が注釈を添えたリンクで構成されている、狭義の blog である。逆に例え Blogger 等のツールを使っても、記事の中に他サイトへのリンクがなければ blog とは言えない。Jorn Barger の定義に従うと、よく更新して日記の文中にリンクのアンカーを多く含む日記ならば blog と言える。つまり日記と blog の違いはあまりないのである、だが blog は日記と同義である言うわけではない blog に含まれる日記もあるということである。blog は日本で言う、日記サイト・テキストサイト・個人ニュースサイトの分野を違うところで区切った分野なのである。ただし現在では日記系、ジャーナル系の blog⁴の方が増えてきたため、blog は日記であると勘違いされているようである。

「tDiary」(Web 日記システム) 等日記ツールについて「blog 作成ツールと比較してどうなのか」という議論があった、これは“使う人による”と言える。使い方によっては blog 作成ツールになり、日記作成ツールになるということである。それは「Blogger」などの blog 作成ツールにも同じ事が言える。「Blogger」等の blog 作成ツールを使ったとしても人によっては日記になるということである。

静岡大学情報学部の赤尾教授が日本における blog の定義を発表しているので示しておく、

- 興味深いコンテンツをリスト化し個人的注釈 (批評) 付きでリンクし、テキストが定期的に更新されるサイト
- 下位概念としてニュースサイト、テキストサイト (娯楽性・読み物性)、Web 日記 (記録性・身辺雑記系)
- テキストに日付が付されていること

⁴管理者が気になったニュースに対して、独自の調査や取材をし、そのニュースに関する解説を載せる blog サイト

3 blog に関する技術

3.1 blog 作成支援ツールについて

blog サイトを構築する上で blog 作成支援ツールを使うことはとても便利である。例えば “Blogger” というツールではブラウザ上から HTML のタグを打つこと無く記事を書くことが出来る。そして、ブラウザに表示されるアイコンをクリックするだけで書いた記事をサーバーにプットしてくれる。さらに過去の記事を自動的にアーカイブにまとめてくれる。基本的なページのテンプレートも用意されていてサイトを簡単に作る事が出来る。

ツールを使うことによって blog サイトを運営する人の手間は大きく省かれるし、コンテンツに集中できるのである。個人レベルでの Web コンテンツマネジメントシステム⁵を導入することができるのである。

アメリカで blog が爆発的に増加したのは blog 作成支援ツールの存在が大きかった。極端に言えば HTML を知らなくてもサイトを作ることが出来るのである。blog ツールの一覧を挙げる。

- 「Blogger」 開発 Pyra Labs 公式サイト URL <http://www.blogger.com/>
著名な blog 作成支援サービス。CGI を自分のサイトに置くのではなく、Blogger サイトで書き込んだ内容を、あらかじめ設定したテンプレートをもとに HTML ではき出し、自分のサイトに FTP で自動的にプットする。テンプレート編集の自由度が高く、個性的なレイアウトが作れる。日本語解説サイトも最近いくつか登場している。
- 「Movabletype」 開発 Team of Benjamin Trott and Mena G. <http://movabletype.org/>
blog 作成支援 CGI 「Blogger」同様、レイアウトの自由度が高く、人気がある。最近日本でも利用され始めているが、まだ日本語環境での安定度は高くないようである。日本語化ツールを公開するサイトもある。
- 「Radio UserLand」 開発 UserLand Software 公式サイト URL <http://radio.userland.com/>
User Land 社が提供する有料のツール。ローカルのマシンで動作する。
- 「Manila」 開発 UserLand Software 公式サイト URL <http://manila.userland.com/>
UserLand 社の開発したコンテンツマネジメントシステム 「Frontier6.1」に含まれるソフトウェア。
- 「b2」 開発 Michel Valdrighi 公式サイト URL <http://cafelog.com/> 機能としては基本的に Blogger と同じであるが、Track Back という機能を使うことが出来る。動作には PHP4 と MySQL が必要。
- 「tDiary」 開発ただただし 公式サイト URL <http://www.tdiary.org/>
ただただし氏作の Web 日記作成支援 CGI。スタイルシートを使って見た目（テーマ）を変えられる。読者によるコメント投稿にも対応している。
- 「a-News」 開発 appleple 公式サイト URL <http://www.appleple.com/>
a-Nikki という日記 CGI をベースにした、blog ツール。画像プット機能や簡易タグ入力機能を搭載している。
- 「ハイパー日記システム」 開発 Osayo 公式サイト <http://www.h14m.org/>
Web 日記の TCO⁶ を減少させる日記作成支援 CGI。自由に配布・変更することが出来る。

⁵Web ページの作成・管理・更新などを補助するシステムのこと。

⁶Total Cost of Ownership の略で、システムの総保有コストのこと。

3.2 RSS について

RSS(RDF⁷ Site Summary)とはXML (eXtensible Hypertext Markup Language) をベースに作られた仕組みで、「サイトの概要をメタデータとして簡潔に記述するXMLフォーマット」である。つまり、サイトの更新状況や概要、検索フォームなどを他のサイトに対して公開することができる。RSSはもともとアメリカのNetscape社が開発して公開したRSS0.9がベースになっている。現在一般的に使われているRSSはblogツールの“Manilla”や“Radio Userland”を作ったUserland Software社の規格を取り入れたRSS0.91で、見出しだけでなくblogサイトの要約・格付け・著作権・更新日時などの情報も加えたサイトサマリーを提供できることからRich Site Summaryと呼ばれます。その後Netscape社はRSSから手を引きますが、サイトサマリーを提供する枠組みとしてのRSSへの要望はむしろ高まり、これに独自の要素型を加味して用いるユーザーも出現するなど、混乱の様相を見せた。

そこで、基本的なサマリー提供機能をコアなRSSとして定義し、より高度な機能は(XML名前空間を利用した)モジュールとして追加できるようにするという新しい規格が、改めてRDFに基づくものとして開発者のグループ(RSS-DEVワーキンググループ)で検討された。この成果として2000年12月に提案されたのがRSS 1.0です[RSS10]。RSS 0.9およびRSS 0.91も依然として用いられている。

海外のblogツールや一部の国内の日記ツールはRSSを利用することができ、他のblogサイトが更新した時に通知したり、概要を知ることが出来る。

⁷Resource Description Framework の略で、W3CによってWebベースのメタデータとして開発された。

4 blog の利用・応用について

4.1 blog を利用するメリット・デメリット

まずメリットとして、blog を閲覧する側は Web で話題になっている情報をいち早く仕入れることが出来るし、Web という膨大な情報の中から自分の気になった事柄のみ素早く閲覧することができる。気になったニュースなどに関する自分の思っていることを書き込むことによってその問題に対する討論ができる。既存のメディアのように一方向の情報の受渡しだけではないため、気になった事柄に対し討論することによって見解を深めることが出来る。しかもニュースなどでは報道されなかった一面を見ることが出来る。例えば、ニューヨークの同時多発テロが起きたときにニューヨークに住む blogger 達がこぞって自分の blog を更新した、そのときに blog にリンクしてある個人のニュースサイトを読んだならニュースによる報道とは違った情報を仕入れることができた。

もし blog がなかったら、こうした一般の人々による記録(個人ニュース)の大半は見つけにくいはずである。「ニューヨーク・タイムズ」紙などは、血に飢えた、戦争を扇動する意見でいっぱいだが、一般市民たちは、Web ページにアクセスし、コメントフォーム⁸や掲示板に書き込むことによって、幅広い考えを表明している。少なくとも、Web ページでは「議論」があった [18]。

blog を公表する側としては、自己表現をすることができることである。自分の好きな事柄に対するリンクを貼り公表する、それを読んだ人達が意見や感想を書き込む。そこが blog を公表する醍醐味である。毎日書き続けることによって文章は上達するし、思考力も向上する。「Blogger」等の blog ツールを使えばとても簡単に更新することが出来る。そして blog を公表することによってひとつのコミュニティを作り上げられる可能性もある。

今までのジャーナリズムでは、何かを書こうとする者は編集者と出版者が必要だった。たとえ最良の環境が整っていた場合でも、この過程はジャーナリズムを微妙に歪めてしまう。執筆者はほとんど無意識に、ある種の記事を探している編集者や、特定の事業を推進しようとするマスコミ、あるいは編集者や経営者に影響力を行使する広告主といった、少数の人々を喜ばせようとしてしまうからだ。このような古来からある状態を、Web は軽々と迂回する [19]。自分のそのままの言葉を世界に発信することができるということである。それはジャーナル系の blog を公表する人にとって大きなメリットと言える。

デメリットとしては、blog サイトは多くの Web ページの情報を扱うため、情報の信頼性が低いということである。これは Web 全体に言えることである。しかし、これはジャーナリズムの観点から見ると非常に大きな問題である。確かに blog によって自分のそのままの考えを多くの人が簡単に Web 上に発する事が出来るようになったが、それ故に誤報の恐れもあるということなのだ。当然誤報であった場合には、Web サイトで公に訂正する必要がある。記事を削除するだけでは満足と言えない。それ以前に疑わしい情報は記事にするべきではないし、後で変更する必要がないように記事を書く必要がある。blog を公表する側・閲覧する側、双方に情報の真偽を見極める目が要求される。

⁸ほとんどの blog 作成ツールには、記事ごとにコメントを書き込むフォームを設置できる。

4.2 blogの教育・コミュニケーションへの利用

現在トロント大学が Edublog (教育を目的とした自己表現ジャーナル) プロジェクトの一環として blog を用いた自己表現というのをしている。その他に、カリフォルニア大学バークレー校ジャーナリズム大学院では「深層リンク」(リンク先サイトの下位階層のページに直接リンクすること) 問題やオンラインでの音楽ファイル交換といった著作権問題に関する blog を 1 つ作り、blog は「ジャーナリズムの実践にとって実際のメディアであるか否か、そして、それが真に意味するものとは？」をテーマとした研究を進めている。さらに南カリフォルニア大学アネンバーグ校通信学部を含むいくつかの学校が、すでにオンライン・ジャーナリズム教室に blog を取り入れている。

その他、blog の教育への利用を考えると「コーチング」が挙げられる。blog はコメントフォームを利用する事によって 1 人対複数という形式でのコミュニケーションを取りやすいので、先生の blog サイトに課題を書きこみ、生徒がその課題の結果をコメントフォームに書き込む、その結果に対してさらに先生がコメントをつけるという利用の仕方である、既存のメーリングリストや掲示板でも同じ事は可能だが、メーリングリストよりオープンでかつ、導入が簡単で、掲示板よりもスムーズに 1 対 n のコミュニケーションを取ることが可能である。

さらに、アメリカでは小学校から MBA(経営管理学修士) 取得講座に至るまで、さまざまな教室で教師たちが blog を導入しようとしている。バーモント州のミドルベリー大学に勤務する教育テクノロジーの専門家、Sarah Lohnes によると、「blog は“学級管理の道具”として使うとき、最も効果的だということは、教師たちにもわかってきた」という [19]。宿題の内容を知らせ、父兄に最新情報を流し、調査すべき素材へのリンクを教えるのに使うのが一番良いと言っている。

次に blog のコミュニケーションへの利用を考察する。既存の blog 用、一部の日記用のツールには、その時々の記事にコメントフォームをつけることが出来る。その機能を使うことによって毎日の記事に直接的に書き込むことが出来る。従来の日記と掲示板の組合せでも同じことはできるが、掲示板に比べて 1 対 n のコミュニケーションに向いていると言える。

さらに「Movable type」や「b2」等の blog 用のツールには Track Back という機能がついている。この機能は引用した記事の URL を特定のフォルダに記述すると、記事を公表した際、自動的に引用元のサーバーにある Trackback の CGI のファイル (Movabletype の場合 mt-tb.cgi) に、記事の ID・タイトル・引用する記事の URL・送信元のサーバーの IP アドレス・送信元の blog の名前・日付を送る。引用された側の blog サイトでは Track Back のカウンターの数値が 1 増加し、XML のファイルを返信する。引用された側の blog サイトでは Track Back の項目をクリックすると、どのサイトに引用されたのかわかる、という機能である。

例えば他の blog サイトが自分の blog サイトの記事を引用し、その記事に対して指摘等がある。そのことが Track back によって通知される。このように Track back 機能を使うことにより、サイト間コミュニケーションを取ることが可能である。

4.3 blogの今後の展開と応用についての考察

現在のblogサイトの主なジャンルである政治・PC関連・時事ニュース・芸能等に加え、将来的には大手のサイトは一般的なジャンルを全て抑えると考えられる。そして小規模なサイトでは、よりいっそう管理者の趣味を反映した、もしくは2,3のジャンルに特化したblogサイトになると考えられる。スラッシュドットジャパン⁹はサイト閲覧者が記者となってそれぞれの専用のスペースにblogを書き込める(タレ込む)といった形式をとっている。将来的には既存の形式のblogサイトに加えスラッシュドットジャパンのようなblogコミュニティが増加すると推測される。

アメリカのNewsweek紙に「blogはオールドメディアを殺すか?」とまで書かれたが、blogにはそこまでの影響力はないと考えられる。確かにblogは速報性においては、既存のメディアを凌駕しているといえるが、情報の信頼性においてはマスコミがニュースをWeb上に載せないほとんどのblogサイトは成り立たないし、blogサイトだけでは新聞や雑誌のように広範囲、詳細まで伝えるのは難しい。将来もマスコミから配信されたニュースに個人ニュースサイトがコメントをつけるという構図は変わらないと考えられる。blogはオールドメディアの補完としての役割を担うと考えられる。既存のメディアとは違った視点でニュースを要約・解説をするのである。

現在携帯電話等からblogを更新するMoblog¹⁰とすることが実験的に試されている[20]。ニュース系のblogは速報性が非常に重要なため携帯電話から更新できるというのは非常に魅力的である。カメラ付きの携帯電話を利用すれば携帯電話でblogに画像も置く事が出来る。この技術が一般的に広まれば携帯電話からblogを更新する事が一般的になるという可能性もある。現在のblogはマスコミ等のページにリンクを貼ることによってしかニュースを報道できなかったのだが、この技術により、目の前で起こったことを画像付きで自分で報道することができるのである。

⁹ ハイテクヲタクのためのニュースと雑談のためのサイト。 <http://slashdot.jp/>

¹⁰ Mobile+blog という意味の造語。

5 まとめ

blogはWebという膨大な情報の目次として、とても有用である。そしてそのblogを支えるのはツールである。今までのWebは「誰もが世界に自分の言葉を発信することが出来る」と言われていたが、やはり知識のない人には敷居が高かった。しかしblog作成ツールがさらに簡単に使えるようになれば、将来的には誰でもサイトを作ることができると考えられる。教育への利用の面においては、ジャーナリストの育成や自己表現には実際使われているが、一般の教育においてはほとんど利用されていない。課題の揭示等、学生への情報の揭示に利用できると考えられるが、まだまだ試行錯誤が必要である。コミュニケーションへの利用に関しては、現在は主にコメントフォームが利用されているが、Track Backを有効に利用すれば、他のサイトと連鎖的にコミュニケーションをとれる可能性がある。将来的には、携帯電話との関係により、ニュース報道を大きく変える可能性がある。blogサイトで発信するニュースが世界に報道される可能性があるのである。そして、blogは教育・コミュニケーションに限らず、多方面での利用が期待できる。さらに、今後一層Web全体の情報量が増える事によって、さらにblogサイトに対する需要が増えると考えられる。Webにとって欠かせないものになると考えられる。これからblogがどのように発展していくか注目すべきである。

6 謝辞

本研究を行なうにあたり御指導いただいた、大垣斉講師、藤井信夫教授、中村孝講師ならびに研究室の皆様へ深く感謝の意を表します。

参考文献

- [1] NCSA 「What's New Page」
[<http://archive.ncsa.uiuc.edu/SDG/Software/Mosaic/Docs/whats-new.html>]
- [2] HOT WIRED JAPAN 大手メディアに警鐘を鳴らす「ブロガー」たち
[<http://www.hotwired.co.jp/news/news/culture/story/20030108206.html>]
- [3] Scripting News
[<http://www.scriptingnews.com/>]
- [4] rebeccablood
[http://www.rebeccablood.net/essays/weblog_history.html]
- [5] An Incomplete Annotated History of Weblogs
[<http://www.chymes.org/hyper/weblogs.html>]
- [6] Microsoft 社
[<http://www.microsoft.com/>]
- [7] Microsoft Backstage Japan
[<http://www.microsoft.com/japan/Backstagejpn/Caravan/New/p01.asp>]
- [8] Macromedia 社
[<http://www.macromedia.com/>]
- [9] Macromedia Designer & Developer Center
[<http://www.macromedia.com/desdev/>]
- [10] HOT WIRED JAPAN ウェブログ戦略を展開するマクロメディア社
[<http://www.hotwired.co.jp/news/news/business/story/20020513104.html>]
- [11] 侍魂
[<http://www6.plala.or.jp/private-hp/samuraidamasii/>]
- [12] 斬鉄剣
[<http://www02.u-page.so-net.ne.jp/qb3/tmnami/zantetu.htm>]
- [13] 俺ニュース
[<http://www13.xdsl.ne.jp/techle/>]
- [14] 連邦
[<http://www.renpou.com/>]
- [15] 日本ウェブログ学会
[<http://www.akaokoichi.net/weblog/index.htm>]

- [16] Japan Blogging Association
[<http://www.jba.or.jp/>]
- [17] 東京大学新領域創成科学研究科メディア環境学研究室
[<http://www.media.k.u-tokyo.ac.jp/>]
- [18] HOT WIRED JAPAN 貴重な情報をネットで発信するアマチュア・ジャーナリストたち
[<http://www.hotwired.co.jp/news/news/culture/story/20010918202.html>]
- [19] HOT WIRED JAPAN 正統派ジャーナリズムが「ウェブログ」を認知?
[<http://www.hotwired.co.jp/news/news/culture/story/20020611204.html>]
- [20] JOI ITO Web
[<http://joi.ito.com/jp/>]